

最高の指揮者、ソリスト、オーケストラによる  
ドヴォルザークの名曲を！

# 東京都交響楽団コンサート

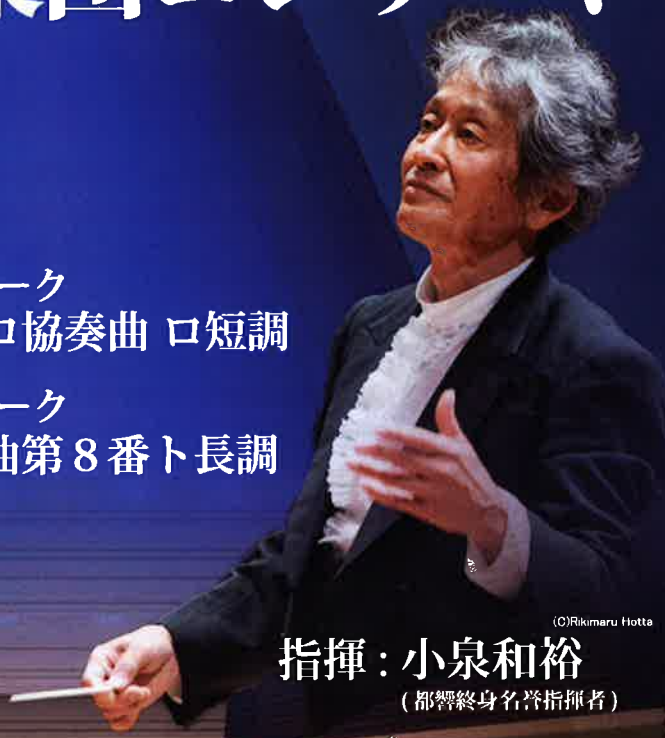


ドヴォルザーク  
チェロ協奏曲 口短調

ドヴォルザーク  
交響曲第 8 番 ト長調

チェロ：佐藤晴真

(2019 年ミュンヘン国際音楽コンクール優勝)



指揮：小泉和裕

(都響終身名誉指揮者)



2021.  
**10/31** 日 15:00 開演 (14:00 開場)

白河文化交流館  
**コミネス 大ホール**

(〒961-0075 福島県白河市会津町 1-17)

【全席指定】

S席 8,000 円 . A席 6,000 円 . B席 4,000 円

友の会 各 500 円引き (計 2 枚まで)

高校生以下 各 2,000 円引き (未就学児入場不可)

※障がい者割引についてはお問合せ下さい。

※本公演は託児サービス対象公演です。

公演日 1 週間前までにご予約下さい。



**8/11 日 10:00 一般発売**

( 8/4 日 10:00 コミネス友の会先行 )

**チケット販売**

コミネス窓口 9:00 ~ 20:00 (火曜休館) ※8/30(月)臨時休館  
ネット予約 <http://www.cominess.jp/ticket>  
電話予約 TEL 0248-23-5300  
※8/12(木) 10:00 より受付 (座席指定不可)

**プレイガイド**

うすいプレイガイド (福島県郡山市中町 13 番 1 号)  
TSUTAYA 黒磯店 (栃木県那須塩原市下厚崎 264-5)

**主催・お問合せ**

白河文化交流館 **コミネス** (指定管理者NPO法人カルチャーネットワーク)  
TEL 0248-23-5300 E-mail: shirakawa@cominess.jp

多くの人に愛されるドヴォルザークの名曲集です。チェロ協奏曲の独奏は、2019年ミュンヘン国際音楽コンクール優勝の新鋭、佐藤晴真。耳慣れたチェロ協奏曲にフレッシュな息吹をもたらしてくれることでしょう。そして、コンパクトな構成の中にたくさんの魅力的なメロディとエネルギッシュなクライマックスを持つ第8交響曲は、いつ聴いても胸躍る逸品。芸術の秋、小泉和裕の円熟のタクトで、心豊かな一日をお過ごしください。

### 小泉 和裕 (Kazuhiro KOIZUMI)

東京藝術大学を経てベルリン芸術大学に学ぶ。1973年カラヤン国際指揮者コンクール第1位。これまでにベルリン・フィル、ウィーン・フィル、バイエルン放送響、ミュンヘン・フィル、フランス放送フィル、ロイヤル・フィル、シカゴ響、ボストン響、モントリオール響などへ客演。新日本フィル音楽監督、ウィニペグ響音楽監督、都響指揮者／首席指揮者／首席客演指揮者／レジデント・コンダクター、九響首席指揮者、日本センチュリー響首席客演指揮者／首席指揮者／音楽監督、仙台フィル首席客演指揮者などを歴任。現在、都響終身名誉指揮者、九響音楽監督、名古屋フィル音楽監督、神奈川フィル特別客演指揮者を務めている。



(C)Rikimaru Hotta



(C)ヒダキトモ

### 佐藤 晴真 (Haruma SATO)

2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。第83回日本音楽コンクールチェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など多数の受賞歴を誇る。すでにバイエルン放送響はじめ国内外の主要オーケストラと共演を重ねており、室内楽にも積極的に活動している。18年8月には、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19年12月には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。20年秋、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses ~ブライムス作品集~』をリリース。15年ヤマハ音楽振興財団奨学生。16年度東京藝術大学宗次特待奨学生。18年度ロームミュージックファンデーション奨学生。19年度第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞受賞。現在、ベルリン芸術大学にてJ-P. マインツ氏に師事している。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE. ロッカ1903年。

### 東京都交響楽団 (Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra)

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。2020年に創立55周年を迎えた。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。

東京文化会館、サントリーホール、東京芸術劇場での定期演奏会を中心に、小中学生への音楽鑑賞教室(50回以上/年)、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラダ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開。

